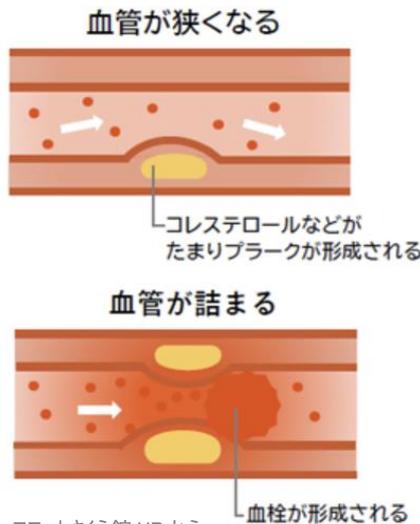


喫煙を続けると様々な病気になる確率が高くなります。タバコの煙に含まれる有害物質がいろいろな臓器にダメージを与えるからですが、なかでも血管がダメージを受けることは案外知られていません。下図にあるように、血管が狭くなったり詰まってしまう原因の一つに喫煙があげられているのです。特に全身に血液を届ける太い動脈が狭くなる動脈硬化や、詰まる動脈閉塞は致命的な病気につながります。動脈がダメージを受けると、狭くなったり詰まるだけではなく、切れる場合や裂ける場合も

動脈硬化から動脈閉塞の過程



あるのですが、こんな事が体のどこかでおきると大変です。

例えば、脳をめぐる動脈が詰まると“脳梗塞”、切れると“脳出血”や“くも膜下出血”となり、すぐに治療してもらわなければ命にかかります。また心臓の動脈が詰まる

湘南健診クリニック ココットさくら館 HP から

“心筋梗塞”も同様に一刻でも早く手当をしてもらわなければなりません。

そして、動脈が詰まったり、切れるタイミングは突然やってきます。なんの前触れもなく急に意識がなくなったり苦しくなるので、本当に怖い病気です。

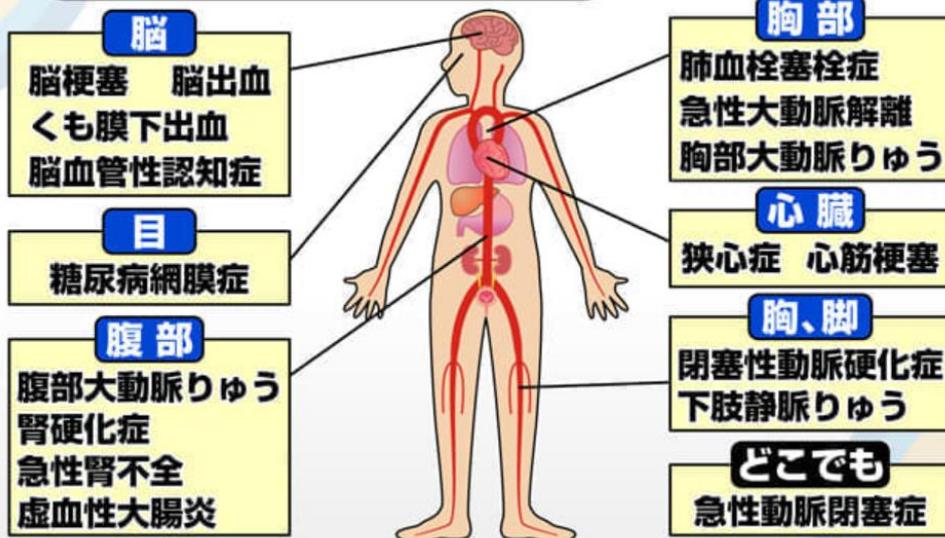
血管に起こる症状

B S日テレ「深層NEWS」より

- ◆硬くなる… 動脈硬化
- ◆詰まる… 梗塞 閉塞
- ◆切れる… 動脈りゅう 出血
- ◆裂ける… 解離 動脈りゅう

血管が原因で起きる主な病気

B S日テレ「深層NEWS」より



血管が詰まったり切れると血液が届かなくなるので、その部位の細胞は死んでしまいます。そう考えるとさらに怖さが増しませんか。

そんな危険な状態にならないように少なくともタバコを吸ってははいけません。

産業デザイン科 奥田恭久